

学校行事参加型＋体験活動参加型＋講演会型（小学校）

学 校 名	関ヶ原町立関ヶ原小学校
実 施 日 時	平成28年6月25日（土）
会 場	体育館 → 各家庭
参 加 人 数	全校児童(261名)保護者(184名)学校職員(30名)
学習課題（分野）	親子災害対策講習（社会問題・災害時の対応）
運営者の願い	いつ起きるか分からない地震。もし、登下校の最中や、友達と遊んでいるときなどに地震が起きたらどうするか。春には熊本地震が発生したこともあり、子どもたちには、自分の命は自分で守ってほしい。そのためには、必要な知識を身に付け、できる限り、年齢相応に正しい行動を取ってほしい、という願いのもと、この活動を企画しました。親子で触れ合い、共に学び、体験する場を通して、その学びをいざというときのために生かしてほしいと考えました。
学 習 の 内 容	
<p>親子ふれあい活動 6月25日（土） テーマ 「いざというときのために ～ぼくたち、わたしたちにできること～」</p> <p><講習会概要> 全校児童・保護者・職員対象(体育館) 講師…消防署の方 内容…地震発生時の対応について ・地震発生時の行動(寸劇を交えて) ・消防士さんから地震災害についてのお話 ・安全マップの作成、確認</p> <p><活動の実際> ① 地震発生時の対応 体育館で、PTA役員の方々に小学生の登校の様子を演じていただきながら、地震発生時の対応の仕方について考える場をもった。寸劇は、「こんなときどうする?」という子どもへのインタビューを挟んだり、消防署の方からコメントをいただいたりしながら、分かりやすく進めることができた。出演した保護者の方の熱演が好評だった。</p> <p>② 消防士さんのお話 消防士さんからは、活断層のお話から、地震は、この地方でもいつ起こってもおかしくないことや、非常用品の準備、避難場所への移動など、地震災害に見舞われたときの「これだけは」について、話をしていただいた。とても分かりやすく、保護者の方からの反応もよかった。</p> <p>③ 各地区ごとに、避難場所の確認と安全マップの作成 地区ごとに集まり、親子で避難場所の確認をしたり、地域の方とざっくばらんに災害時の対応について話をする時間を持ち、安全マップづくりを行った。</p> <p><アンケートより></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(児童の感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気を付けて避難場所まで行って、安全を確保したいと思いました。 ・安全マップを班の子たちと作って、いろいろな案が出てよかった。 ・いざというときにどうすればよいか分かったのでよかった。 <p>(保護者の感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるか分からないので、避難場所の確認や非常用品の準備が大切だと分かった。 ・地震について、子どもと共に学べて親としてとてもよかった。今後も参加したい。 ・寸劇によるメッセージが伝わり、まさにPTAのスローガン「パッと楽しく集まろう」だなと感じた。楽しく、カジュアルに、しかも大切なことをしっかりと伝えて、子どもたちにも響いたのではないかな。 ・地区の方とも、地震について話せてよかった。 </div>	



本年度は、「(P)パッと(T)楽しく(A)集まろう」というPTAスローガンのもと、多くの保護者の参加を促せるような活動を工夫し、取り組んできました。親子ふれあい活動では、PTA役員の方々が率先して寸劇を企画し、大がかりな背景を手作りするなど、主体的・独創的な活動を展開し、多くの参加がありました。

本年度は地震災害についての講習会でしたが、「親子で楽しみながら学ぶ」という点に重点を置きながらも、「自分の命は自分で守る」ことの大切さを伝えることができました。

また、この後、10月には6年生児童全員と保護者（希望者）を対象にしたAED講習会を行いました。6年生の子たちは、危機意識を高くもって中学校へ進学してくれることと思います。

写真1



写真2



